

三二〇名の結集で10・17関西国鉄集会打抜く

〓 国鉄闘争全国運動・関西が新たな出発



一〇月十七日(金)、港区民センターにて関西国鉄集会開催。司会の港合同・K執行委員の開会あいさつで、

国鉄一〇四七名解雇撤回闘争と民営化を許すな一〇・一七関西国鉄集会がスタートしました。関西各地から約三二〇名の仲間が結集した集会となりました。

まず始めに「基調報告」を、国労近畿地本の富田益行さんが行った中で、集会のまとめでも強調されていたところですが、①一〇四七名解雇撤回闘争に勝利する事。②JR体制の中からJRを打倒する労働者の団結をつく

り出し外注化阻止。③戦争改憲民営化と真っ向から闘い抜き安倍政権を打倒する。④新たな労働運動、新たな労働組合をつくりだし全国的団結を果たそう。以上の四点でした。

続いて国鉄労働者の戦闘宣言。動労西日本の大江委員長は「若い労働者でやらないといけないという事で全国へ発信しており、広島や愛媛集会も展開し、国鉄は倒れたが動労労組は生きている。みんなの力で労働運動を



登壇した関西・西日本の国鉄労働者

変えていかなければならない」と発言。動労千葉の田中康宏委員長より「全国の仲間たちの支えがあつてこうして闘ってこられた。労働者が力を取り戻して闘っていけるようにする。今の政府を見ると悔しい。戦争の道に流れていって

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!

いる。二度とこういう道へ行ってはいけない。今こそ労働者が団結を取り戻す事である。労働組合を破壊している新自由主義を糾弾し、闘う労働組合を取り戻す事なのです。十一・二集会へ。こんな社会が良いわけないと集会をし、解雇・戦争・民営化を許さない闘いをしたい」とありました。

その後、各労組団体が



らの決意表明で共通していた事が「ストライキという武器で闘おう」という事です。決意表明の最後は港合同からN副委員長でした。

戦争関係の法律を進めている安倍政権を打倒し、民営化に反対し、闘う労働組合を全国へ広めていくという決意であった。

この集会で、十一・二への準備集会とも思えない、力強い決意を感じた。

昌一金属支部 MK



一〇・一七関西西国鉄集会で、基調報告を提起された国労近畿の富田益行さんが、一〇月二九日早朝に急逝されました。富田さんのご冥福をお祈りいたしますとともに、国鉄闘争の勝利に向け奮闘する決意です。



入れ墨調査拒否者への不当処分撤回 11.28 集会

橋下市長の好きにさせへんぞ!

とき 11月28日(金)
18:30 開会

ところ 天満橋(エル・おおさか)
エル・シアター

集会プログラム

- 1 主催者挨拶
- 2 集会基調
- 3 弁護士からの報告
- 4 企画
- 5 被処分者紹介・決意
- 6 連帯の挨拶
- 7 閉会の挨拶



主催 入れ墨調査拒否者への不当処分撤回 11.28 集会実行委員会

連絡先 懲戒処分を許さない南大阪の会 金属機械港合同気付
〒552-0011 大阪市港区南市町3-6-26 TEL.06-6583-4858

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!